

1 新市建設計画とは

「新市建設計画」は、合併年度の平成 17 年度からの概ね 11 年間において、目指すべき新市の将来像とそれを実現する施策、財政計画などを示すものです。

2 合併の必要性

日常生活圏の拡大へ対応する必要があります。

暮らしを支えるサービスを維持・充実することが求められています。

財政基盤の強化と効率的・効果的な行財政運営を推進する必要があります。

地方分権の推進と自立の仕組みづくりが求められています。

3 新市建設の基本方針

まちづくりの基本理念

幸福実現都市

“しあわせ”は、物質的な豊かさだけでなく、市民一人ひとりが主役になって、各自の志を遂げていく中で実感するものと考えます。

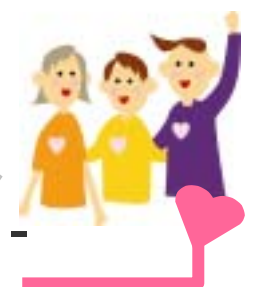
従来、公的なサービスは主に行政が担ってきましたが、市民ニーズや地域の課題が多様化、高度化する現代においては、行政のみですべての課題に対応することには限界があります。

このため、公的なサービスを担う活動を社会全体で支える仕組みを整え、市民、NPO、事業者などとの協働によるまちづくりを効果的に推進し、市民が各自の価値観に応じた“しあわせ”を実現することができる社会づくりを進めます。

新市の将来像

ふれあいビタミンあいのま

- うみ・そら・みどりと共に生きる -



市民一人ひとりの幸福を創造していくためには、暮らしに不可欠なエッセンス「ビタミン」が新市に備わることが大切です。当地域の主要作物である茶やみかんにも豊富なビタミンが含まれ、その効能が注目されていることなどを加味し、元気、若さ、健康などの意味を込めました。

協働で新市のまちを育むためには、愛情、出会い、ふれあい、支えあい、思いやりを大切にできる心、家族の絆や地域を愛する心など、さまざまな「あい」を大切にしなければなりません。

「うみ」、「そら」、「みどり」は、新市の自然やまちの活力の源となる特性をも表しています。この特性を誇りに思い、愛し、活かすことで、更なる発展が期待されます。